



桐生ロータリークラブ週報

2006年

国際ロータリー第2840地区 2005-2006年度 国際ロータリーのテーマ



Service above self

R.I 会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原 勝樹

会長 館 盛治 幹事 川島 康雄

クラブ会報・広報委員会 木村 滋洸 藤井 征夫 佐々木 裕 吉野雅比古 石島 久司 大友 一之

5月8日号

第2566回例会

(4月24日(月) 第4例会 夜間例会)
～桐生第一高校インターアクトクラブとの交流会～

- | | |
|---------------|--|
| 1. 点 鐘 | 5. 委員会報告 |
| 2. ロータリーソング斉唱 | 7. 桐生第一高校インターアクトクラブとの交流会
新世代奉仕委員会担当 |
| 3. 来訪者紹介 | 8. 点 鐘 |
| 4. 会長の時間 | |
| 5. 幹事報告 | |

ようこそビジター

〈桐生第一高校インターアクトクラブ〉 顧問 西尾仁美先生 部長 三田村亜紀美さん
副部長 本保孝太郎君 副部長 駒井隆太君 ならびに部員19名の皆様

会長の時間

4月17日(月) 例会の後、PM6:30分より第8回総合企画特別委員会が開催されました。山口委員長外10名の出席にて3月13日例会の100%出席の達成例会でのパネルディスカッション「それでこそロータリー 魅力あるRCを目ざして～」のまとめが報告されました。パネラー4名、それぞれ入会1年3ヵ月・5年・20年・36年の在籍会員の共通点はやはり出席することにより親睦が深まり、異業種の方々と知り合え話を聞く機会が持て、話題も増え例会が週の区切となり、生活の中に自然にRCが入って来て楽しくRC生活が過せるようになり、人間関係の改善ができるのではないかとそして今のRCの現況は規制がゆるやかになり、簡素化ばかりの改革で緊張感がなくなりつつありステータスの意味がなくなっている。スポーツやゲームはルールや規制が厳しければ厳しいほど面白いのと同じで、ロータリークラブもそういう意味での厳しさが必要ではないか? 「伝統とは革新の積み重ね」であり、桐生RCの伝統を維持するためには常に変化をしながら残すべき伝統は残し、時代に合せて変化することが必要ではないかと……

幹事報告

- 桐生第一高校より入学式に際するお礼状が届いております。
- 桐生南、桐生西、桐生中央、桐生赤城、館林の各RCより週報到着。
- 次週5月1日(月)は休会です。
次回の例会は5月8日(月)ですので、皆様お間違えないようお願い下さい。

委員会報告

出席委員会

平成18年4月17日の出席：総員66名・出席51名
平成18年3月27日例会修正出席率：80.4%
本日の出席(平成18年4月24日)：総員66名・出席46名
平成18年4月3日例会修正出席率：80.0%

ニコニコボックス

本田雄一郎君…新世代奉仕委員会担当例会を開催させていただきます。／藤井征夫君…桐生第一高校IACの皆様をお迎えして／川村 隆君…インターアクトの皆様、ミュージックベル楽しみです。／牛腸 章君…4人目の孫が出来ましたので／館 盛治君・阿部高久君・小林康人君・前原勝良君…写真を戴きました／牛腸 章君…塚越さんより写真を戴きました

例会場 桐生倶楽部 TEL45-1513 例会日 毎月曜日 12:30PM

ホームページ <http://www.Kiryu.co.jp/Kiryurc/> メール Kiryu-rc@ktv.ne.jp

桐生第一高校インターアクトクラブとの交流会

平成18年4月24日(月) 桐生倶楽部2階広間

次 第

司会：新世代奉仕委員長 本田雄一郎 君

1. 開会のことば 新世代奉仕委員長 本田 雄一郎 君
2. 会長挨拶 会長 館 盛治 君
3. 部長挨拶 桐生第一高校 I A C 部長 三田村亜紀美さん
4. 自己紹介 桐生第一高校 I A C の皆様
5. ミュージックベル 桐生第一高校 I A C の皆様
「翼をください」「ムーンライト伝説」
手話ソング
「ベストフレンド」「未来へ」
6. 閉会のことば 桐生第一高校 I A C 顧問 西尾 仁美 先生

開会のことば 本田雄一郎君
今年度新世代奉仕委員会では、より多くの会員の皆様との交流を目的としまして、桐生第一高校 I A C との交流会を夜間例会の場をお借りして開催させていただくことに致しました。本日は、ミュージックベルと手話ソングを発表していただきます。生徒の皆さんの日頃の練習の成果をご覧ください。よろしくお願い致します。

会長挨拶 館 盛治君
本日の例会は、本田新世代委員長の計らいによる桐生第一高校の I A C の皆様と私の記憶の中では初めてのロータリークラブとの合同例会という形での交流例会となりました。私たち R C はこの様な形式にて例会を行っています。何をお話したらよいか考えましたが、調度最近読んだエッセイ集の中外日報「時感断想」H17.6.7よりベマ・ギャルボ 桐蔭横浜大学教授 チベット文化研究所所長のエッセイより「おかげさま」について。最近、日本では死語となりつつあるいくつかの言葉が外国では見直され、新しい哲学として普及し始めています。そのひとつがノーベル平和賞受賞者で、環境保全の運動家としても有名なケニアの環境副大臣マータイ女史の言う「もったいない」です。過日、来日時の記念講演でも日本には「もったいない」という素晴らしい言葉があり、地球の限られた資源を大切にすることで「もったいない」という表現を立派なスローガンとして活用したいと、一時間ほどの演説の中で「もったいない」を連発し、会場は大受けでした。

ところで私は今、「おかげさま」という言葉を世界に普及するように努力しています。ノーベル賞受賞者ではないため、反応は鈍いですが、この「おかげさま」イズムは21世紀における諸問題解決の処方箋であり、また共存共栄のためのキーワードになるものと確信しています。私の来日は1965年のことですが、その頃の日本人は、頻りに「おかげさま」という言葉を使っていました。お元気で、勉強は進んでいますか、商売はどうですか等々の問いかけに対し、返事は「おかげさまで……」の一言で充分に通じ合えたのです。私自身、日本に来て最初に大きなハードルをクリアした際、面倒を見て下さっていた先生から、スポンサーの所へ挨拶に行き、「おかげさまで、うまくいきました」と、お礼を言うように指示されたことがありました。ところが私は自分で頑張ったからうまくいったのであって、なぜ他人に「おかげさま」と言わなければならないのかわからず、違和感に照れくささも混じり、とうとう素直に「おかげさま」という言葉を使うことができずして。あれから39年、当時を思い起こすと、印パ戦争で緊張に満ち、停電が当たり前だったインドから、勉強のためのすべての費用はスポンサー持ちで、一切心配無く過ごせるという

幸せな環境を与えてくださった日本の多くの方々の「おかげ」で私は今日まで頑張ってきたのです。

私たちは生きていく上でお金や形あるモノにはその重要性を痛感しますが、反面、空気や水のありがたさはそれほど感じていません。しかし、私たちは有形無形を問わず、生きとし生けるものすべてに依存しており、また頼りにしているのです。私が今日まで大過なく生きてこれたのも、皆さまの「おかげ」でありそうした境遇をいただいたことに対し改めて感謝しながら、「おかげさま」の言葉の深い意味を噛みしめております。この言葉が世界中に理解されれば、人類はより謙虚になり、自分が生きていることに意味と感謝の気持ちが生まれてくるのではないのでしょうか。以上が書かれていた事です。今日ここに話したかったのは、はじめの「もったいない」最近の豊饒な日本では少し忘れがちな言葉です。そして次の「おかげさま」です。これは感謝の気持ちを言い表す言葉だと思えます。「おかげさま」で今日 I A の皆様と楽しい例会が出来ました。ありがとうございます。

部長挨拶 三田村亜紀美さん
本日はお招きいただきありがとうございます。ミュージックベルと手話ソングを一生懸命練習してきました。短い時間ですが、本日はよろしくお願い致します。

閉会のことば 西尾仁美先生
本日はこのような会を開いていただきまして、本当にありがとうございます。私は I A C 顧問になってから7年目となりました。入った当時は部員数が3、4人だったため、街頭募金等の毎日する活動に関しては、同じ生徒が毎日出なければならぬ状況でしたが、おかげ様で現在は20人以上の部員数となり、その点は本当に良かったと思っています。この7年間の間にボランティアの活動の幅も広がり、今は毎週土曜日に桐生東小学校体育館において、障害児を対象にした「和太鼓ドンドクラブ」の補助を生徒が行っております。その中で、保護者の方から「初めは戸惑っていた生徒たちが1年を通してよく成長してくれました。今では、彼らや彼女達がいなければやっていけない。」と温かいお言葉をいただきました。顧問としては本当に嬉しい限りです。桐生第一高校というと野球部やサッカー部といった派手な部活が有名で、I A C という部活は陰で支えている縁の下の力持ち的な立場ですが、それでもいいと思います。陰日向なく生徒たちが一生懸命やってくれますので、私も顧問としては冥利につきます思いです。今後はもっと活動の幅を広げていきたいと思っておりますので、この若い力を是非とも借りたいという時がありましたら、桐生第一高校の西尾へご連絡下さい。どうかこれからもよろしくお願いします。本日は本当にありがとうございました。

